



世界の国から

「メリークリスマス！」

12月5日、笠岡国際交流協会(KIEA)主催のクリスマスパーティーが労働福祉会館で開催されました。

会場には、クリスマスカラーの服やサンタの衣装を着た人など市内外から約150人が参加。ハンドベルの澄んだ音色に聞き入ったり、生バンドの演奏に合わせてダンスをしたりと楽しい時間を過ごしていました。

また、最後には、みんなでプレゼント交換をし、子どもたちは少し早いクリスマスプレゼントに目を輝かせていました。



憧れの選手たちから熱烈指導

11月27日、古代の丘スポーツ公園内のどんぐり球場において、岡山県出身のプロ野球選手OBを指導者に招き、「少年野球教室」が開催されました。

参加したのは市内中学校の野球部員で、それぞれのポジションに分かれての守備練習や、打撃と走塁の指導を受けました。「もっと腰を落とす」と「声を掛け合って」など指導者のアドバイスを、みんな真剣な表情で聞きながら練習をしていました。また、ファインプレーが飛び出し、全員から拍手が湧き上がる一場面も。



国体準備、着々と

今年の「晴れの国おかやま国体」開催に向けて、民泊協会の準備も着々と進んでいます。

12月12日、保健センターギャラクシーホールでは民泊研修会が開催され、午前には昨年の「彩の国まごころ国体」を視察した民泊協会の代表13名からの報告会、午後からは「花いっぱい運動反省会」と「歓迎・応援事例研修会」が行われました。出席したそれぞれの民泊協会の皆さんには、これから大詰めを迎える民泊準備についての参考となる一日となったと思います。

また12月14日には、各民泊協会の調理班長と笠岡独自のメニューを考案したメンバーが参加して、国体選手に振る舞われる食事の標準献立の研修会が開催されました。参加者は標準献立と笠岡メニューを、実際に調理し試食をしました。今回の参加者は、これから普及指導員や地区指導員として各地区で献立普及をしていただきます。



クリスマスを彩るリースを作ろう！

12月11日、新山公民館で地区の子どもたちを対象としたクリスマスリースづくりが行われました。

参加した41名の子どもたちは、木の枝やツタ、まつぼっくりなどを使い、クリスマスに玄関先などに飾るリースを作っていました。自分の背丈ほどある円やハート形など思い思いの形にして、リボンやキャンディーなどで飾り付け。鮮やかなリースが完成しました。

クリスマスには、みんなこのリースを飾ってサンタさんを待ったのかな？

